

# 大倉山 花と緑の歴史ツアー

## ～オープンガーデンの庭と歴史を訪ねる～



🌸開催日時

令和8年5月10日(日)10時15分～



©港北区ミズキー

	ポイント	ガイド要旨	スタンプ
1	425 大倉山エルム通り商店会花壇	1978年(昭和53年)の港北区役所移転を機に1988年(昭和63年)に大幅に整備され、記念館のギリシャ神殿風の建築をモチーフに、商店街の各店の建物を白い壁と装飾柱のデザインで統一されました。無電柱化された歩道にはプランターが設置され、明るい街並みへと生まれ変わりました。大倉山エルム通り商店会と地域の方々が季節ごとに花を植え替え、手入れをしています。	
2	415 大倉山公園花壇	駅から大倉山記念館への坂と広場を彩るコミュニティ花壇です。9つの花壇と7つのプランターがあります。昨春から夏にかけてNHK「趣味の園芸」でも取り上げられ、夏に強い宿根草の花壇が出来ました。間伐材を取入れた花壇やたくさんの球根を混ぜた花壇もあります。	
3	大倉山記念館	実業家で後に東洋大学学長を務めた大倉邦彦(1882-1971)により1932年(昭和7年)「大倉精神文化研究所」の本館として創建されました。1981年(昭和56年)に横浜市が寄贈を受け、大改修のうえ建物の保存を図るとともに、1984年(昭和59年)に横浜市大倉山記念館として生まれ変わり、1991年(平成3年)には横浜市指定有形文化財に指定されました。「東西文化の融合」を掲げた大倉邦彦の理想に深く共鳴した建築家の長野宇平治が設計し、古代ギリシャ以前の「プレヘレニック様式」という世界的にも希少な建築様式が用いられています。映画やテレビの撮影にもよく使われています。	
4	大倉山梅林	梅の名所として有名な大倉山公園の梅林で、46種約220本の梅が春に咲き誇ります。一番本数が多いのは大きな実を付ける「白加賀」です。中国伝来で萼(がく)が緑色の「緑萼梅(りよくがくばい)」、一本の木に淡紅色・紅色・白色の花を一緒につける「思いのまま」等の珍しい品種もあります。毎年1月下旬から3月にかけて、早咲き、中咲き、遅咲きと、順番に開花していき、長い期間梅を楽しむことができます。	
5	402 あけぼの会・大倉山保育園 ～金魚池と花壇～	1997年(平成9年)に「花と緑の街並み賞」を受賞した花壇です。現在は湧水が無くなり、金魚の維持に苦心していますが、四季を味わう花壇に進化しました。道行く方々を和ませ、園児たちも季節の花々を楽しんでいます。	
6	403 山本さんのお庭	家の前後2か所に約120株が咲き乱れる、見事なローズガーデンです。原種、オールドローズ、そしてモダンローズの多種多様な花色、花形、また香りを楽しむことが出来ます。	
7	404 PLANTEDの自然風植栽	雑木、宿根草、雑草が自宅兼店舗の周りに80種ほど育っています。隠れて見えないものも多いですが、じっくり観察してみてください。自然に育った草花を中心としたローメンテナンスなお庭です。	

8	大曾根第二公園(ちのいけ)	時代は不明ですが、昔、身重の巡礼の女性が池の近くを通りかかった時、産気づき子どもを産み落としましたがその苦しみから、子どもを手にしたまま池に身を投げた、という説があります。池の水は、農業用の灌漑等に使われていたそうですが、周囲が住宅地として開発されるにつれ、田んぼがなくなっていったため、その役目を終えることになりました。そして、子どもが落ちると危ないという理由から、1969年(昭和44年)に埋め立てられることになったそうです。熊野神社の「のの池」、その前の「いの池」とあわせて「いのちの池」と呼ばれる3か所の池が、この近隣の農業を支えてきたと言われています。	
9	406 師岡熊野神社と市民の森	この神社は聖武天皇代の724年(養老8年)に全寿仙人によって開かれ、熊野山の中腹に鎮祭し、和歌山県熊野三社の祭神と御一体となっています。1351年(観応2年)6月17日に雷火のため社殿は消失しましたが、神体と社宝は無事であり、特に1364年(貞治3年)の熊野山縁起は現存して神社の故事を今に伝えています。2014年(平成26年)「平成の大修造第二期」に着手し、手水舎新築、境内社整備参集殿改修等の事業を完遂し、一新されました。社殿裏手にある森は市民の森で、千年来の豊かな緑があります。こちらの「のの池」は、どんな日照りにも決して枯れることなく水をたたえ続け、かつて社殿が落雷による火災に遭った時も「のの池」の中にご神体や社宝を投げ入れ沈めたことにより、焼失から守ったと言い伝えられています。	
10	いの池	「いの池」は、ひらがなの「い」の形をしていることから、いつの時代からか不明ですが「いの池」と呼ばれるようになったそうで、この池の水をさらうと雨が降るといふ言い伝えがあります。昔は池で雨乞いが行われたそうで、1184年(承安4年)に日照りが続いた時は、延朗上人が12体もの竜頭を作り、八大竜王を招くと三日三晩大雨が降り田畑の作物を生き返らせたのだと言います。	
11	405 さんげ坂	師岡熊野神社の別当寺として、ともに歴史を刻んできた「法華寺」があります。聖武天皇代の724年(養老8年)に全寿仙人が当地に住み着き、法華経を転読、熊野権現の告により毘首羯摩(びしゅかつま)が彫刻した本尊を安置したと言います。その後、光孝天皇の御后妃御願成就により885年(仁和元年)に創建、歳月を重ね、鎌倉時代の僧である良賢(りょうけん)によって繁栄されました。月一回程度手入れされている花々が坂の周りに咲き誇り、坂の上から見る景色は絶景です。	
12	413 市ノ坪こどもの遊び場花壇	広場の一角を花壇にしました。町内会とシニアクラブが花壇の手入れをされています。季節ごとに色々な花を楽しむことができる花壇です。	
13	410 GREEN×EXPO 2027応援花壇	GREEN×EXPO 2027応援取り組みの一環として今年の3月に誕生した花壇です。今後も季節の花々が街ゆく皆さまを明るくお出迎えます。	
14	412 区役所前ハマ・サポ・メドーガーデン	2021年にチガヤだらけの緑地帯をハマロードサポーターを取得後、大倉山の有志で土壌づくりを行い無冠水でも元気に育つ宿根草メインの花壇を作りました。 植栽後、毎月第二日曜日にハマ・サポ大豆戸町としてGREEN & CLEAN大倉山の街の美化グループ主体で管理しています。植物をただ植えるだけでなく、環境や人も含めた育む活動をしています。ミズも育成中です。 現在植っている植物の種類は30種ほど、4月はヒメウツギや球根類、5月はオルラヤ、アナベル、ユーフォルビア、バプティシアが開花、夏場は乾きと暑さに強いグラス類が彩りを添え、最後はアスター類が咲き、冬の期間は植物の枯れ姿を楽しむ事ができるボーダーガーデンです。 季節ごとに細かな植物が次々と開花します。 よく見ないと発見できない植物ばかりなのでじっくり観察してみてください。	